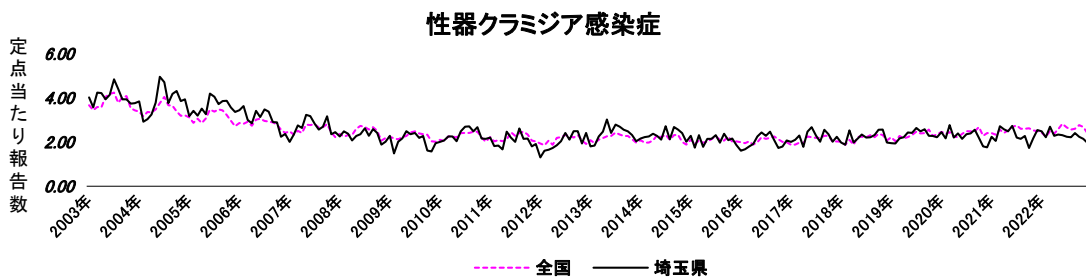


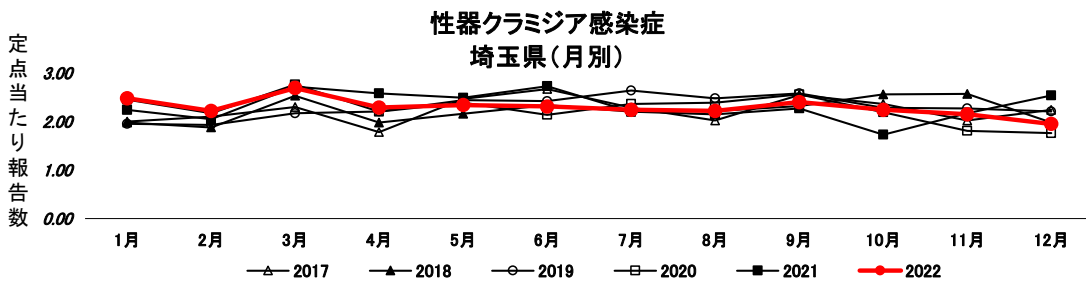
6 性感染症定点把握対象疾患の動向

1) 性器クラミジア感染症

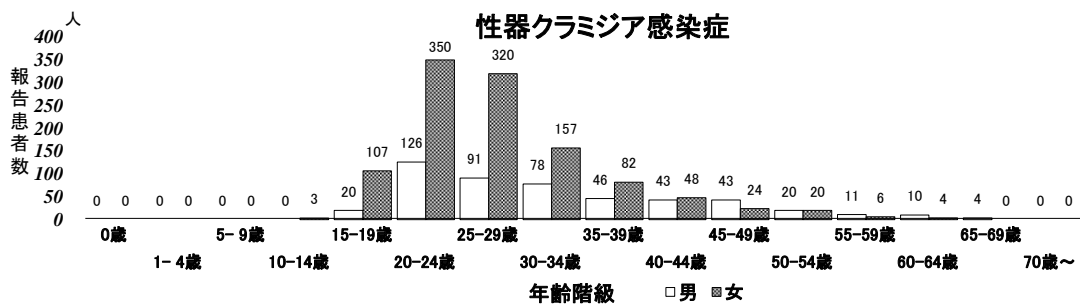
2022年1月～12月の累積報告患者数は1,613人（男性492人、女性1,121人、性比0.44）であった。定点当たり報告患者総数27.57は前年と同水準であった。定点当たり報告数は最小値1.95、最大値2.69の範囲で推移した。報告患者は、男性では20-24歳（126人）、25-29歳（91人）及び30-34歳（78人）が多く、男性全体の60.0%を占めた。女性では20-24歳（350人）及び25-29歳（320人）が多く、女性全体の59.8%を占めた。



図Ⅱ-23-1 定点当たり報告患者数の年推移（全国比較：性器クラミジア感染症）



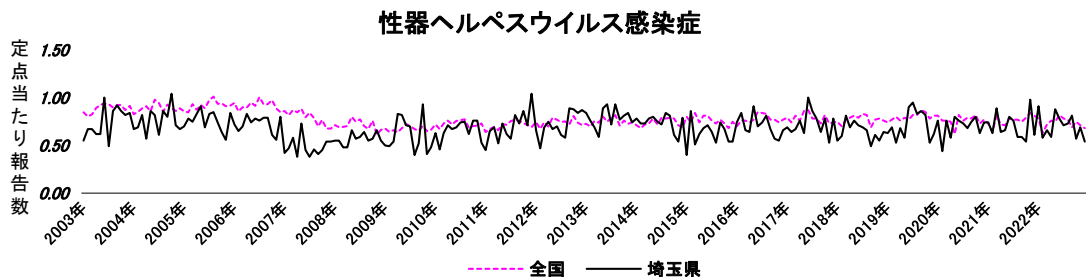
図Ⅱ-23-2 定点当たり報告患者数の推移（埼玉県：性器クラミジア感染症）



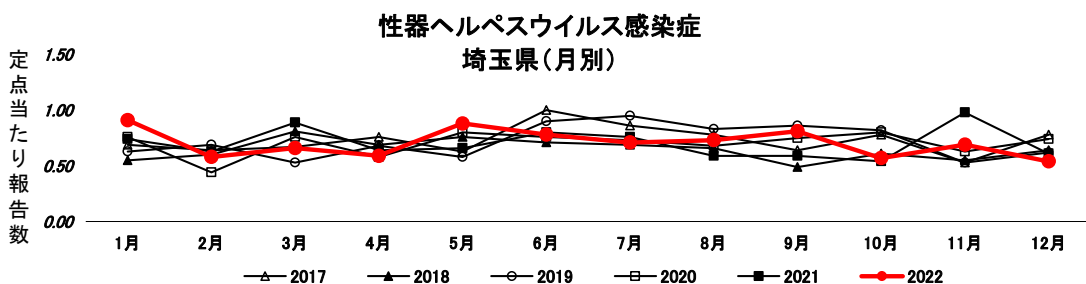
図Ⅱ-23-3 年齢階級別報告患者数（埼玉県：性器クラミジア感染症）

2) 性器ヘルペスウイルス感染症

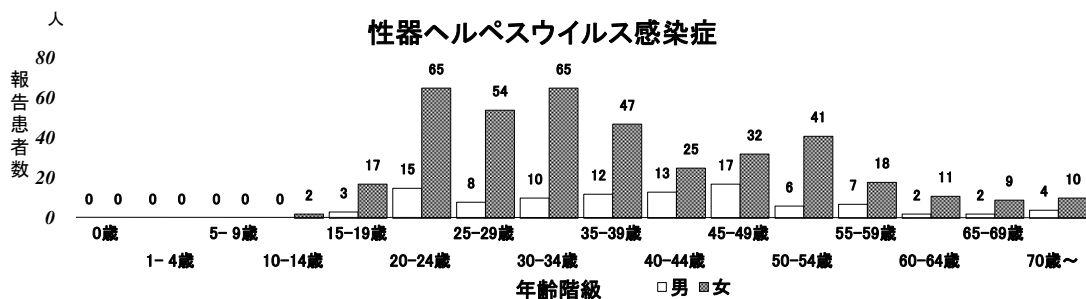
2022年1月～12月の累積報告患者数は495人(男性99人、女性396人、性比0.25)であった。定点当たり報告患者総数8.46は前年と同水準であった。定点当たり報告患者数は最小値0.54、最大値0.91の範囲で推移した。報告患者は、男性では45-49歳が17人で最も多く、20歳から49歳が75.8%を占めた。女性では20-24歳及び30-34歳の各65人が最も多く、20歳から39歳が58.3%を占めた。



図Ⅱ-24-1 定点当たり報告患者数の年推移（全国比較：性器ヘルペスウイルス感染症）



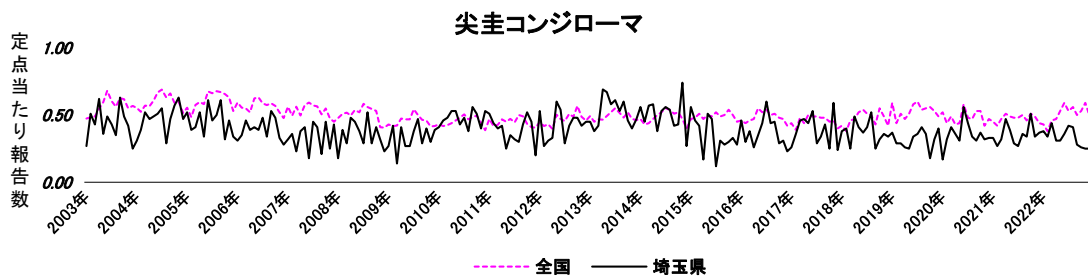
図Ⅱ-24-2 定点当たり報告患者数の推移（埼玉県：性器ヘルペスウイルス感染症）



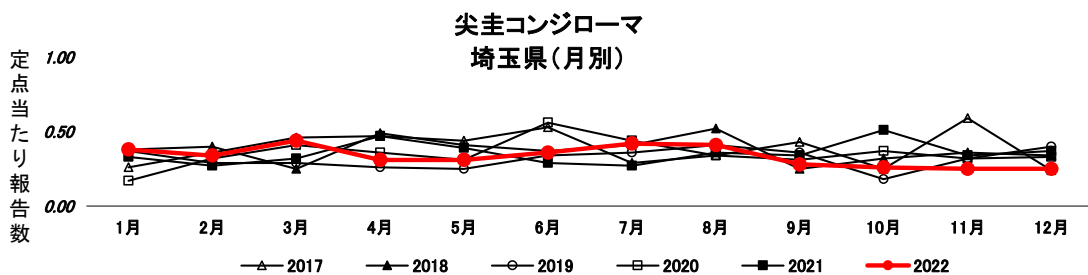
図Ⅱ-24-3 年齢階級別報告患者数（埼玉県：性器ヘルペスウイルス感染症）

3) 尖圭コンジローマ

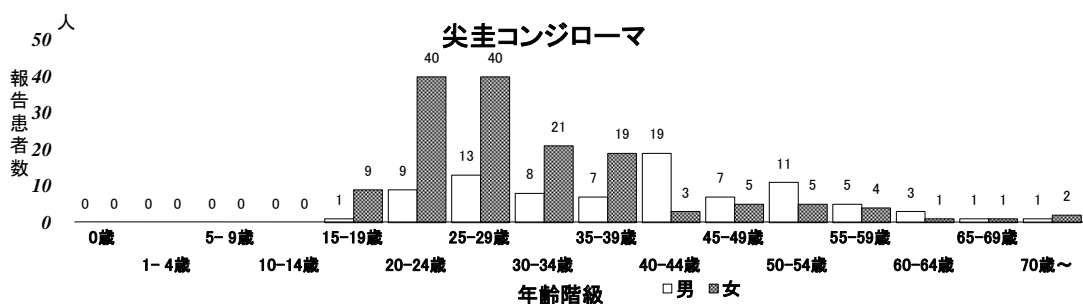
2022年1月～12月の累積報告患者数は235人(男性85人、女性150人、性比0.57)であった。定点当たり報告患者総数4.02は前年と比べわずかに減少した。定点当たり報告数は最小値0.25、最大値0.44の範囲で推移した。報告患者は、男性では40-44歳が19人で最も多く、次いで25-29歳が13人で多かった。女性では20-24歳及び25-29歳の各40人が多く、20歳から39歳が80.0%を占めた。



図Ⅱ-25-1 定点当たり報告患者数の年推移（全国比較：尖圭コンジローマ）



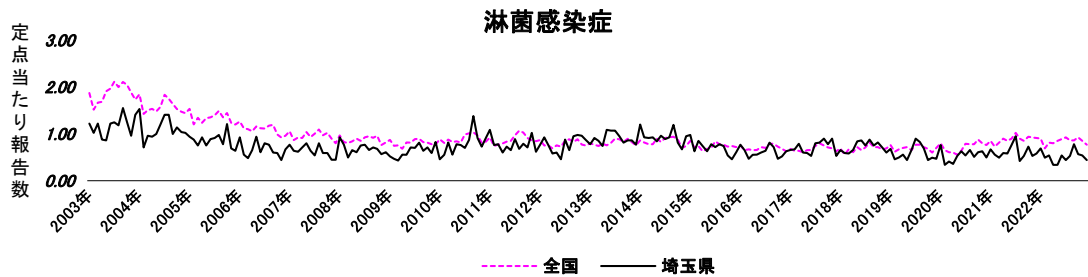
図Ⅱ-25-2 定点当たり報告患者数の推移（埼玉県：尖圭コンジローマ）



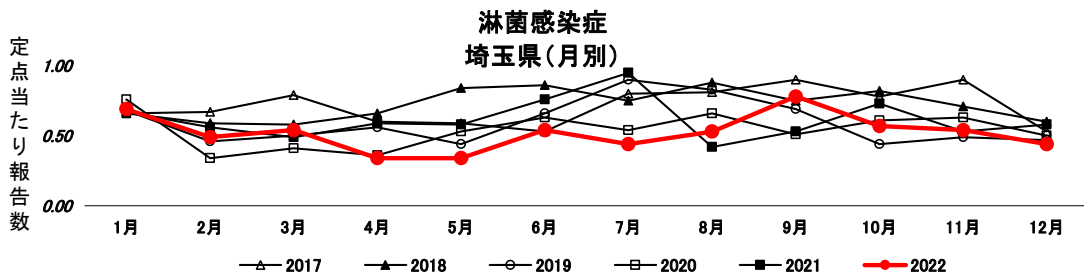
図Ⅱ-25-3 年齢階級別報告患者数（埼玉県：尖圭コンジローマ）

4) 淋菌感染症

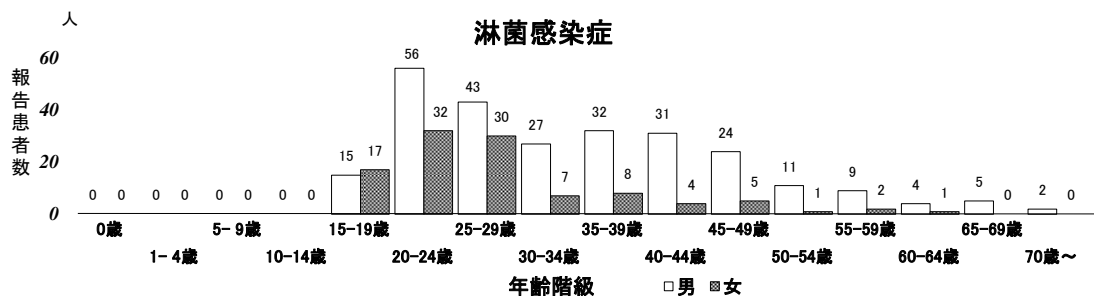
2022年1月～12月の累積報告患者数は366人（男性259人、女性107人、性比2.42）であった。定点当たり報告患者総数6.26は前年と比べわずかに減少し、過去最少となった。定点当たり報告数は最小値0.34、最大値0.78の範囲で推移した。報告患者は、男性では20-24歳が56人で最も多く、20歳から49歳が82.2%を占めた。女性では20-24歳が32人で最も多く、15歳から29歳が73.8%を占めた。



図Ⅱ-26-1 定点当たり報告患者数の年推移（全国比較：淋菌感染症）



図Ⅱ-26-2 定点当たり報告患者数の推移（埼玉県：淋菌感染症）



図Ⅱ-26-3 年齢階級別報告患者数（埼玉県：淋菌感染症）